



2026年 5月18日

各 位

会社名 ReYuu Japan株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 重富 崇史
 (東証スタンダード：9425)
 問合せ先 執行役員 企画管理部長 武本 遼祐
 電話番号 03-6230-9388
 URL <https://www.reyuu-japan.com/>

Universal Digital Inc. との融資枠に関する基本合意 終了に関するお知らせ

当社は、2025年10月30日付「[Universal Digital Inc. との融資枠に関する基本合意締結のお知らせ](#)」にて公表しました、Universal Digital Inc. (以下「Universal 社」といいます。) との融資枠に関する基本合意書 (以下「本基本合意」といいます。) について、本日、双方合意により終了することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本基本合意終了の理由

当社は、2025年10月30日付で Universal 社との間で、1億米ドル (約150億円) を上限とする融資枠の組成に関する協力体制の構築について、本基本合意を締結いたしました。

本基本合意は、当社の暗号資産トレジャリー戦略に関連し、外部資金を活用した資産取得体制の構築に向けた協議を行うことを目的とするものであり、締結時点において具体的な借入れや金利条件等が決定していたものではありません。

その後、暗号資産トレジャリー戦略を掲げる上場企業を取り巻く資本市場環境は変化しており、暗号資産の保有額を基準とする企業価値評価や、当該戦略に基づく資金調達に対する投資家の見方についても、より慎重な評価がなされる状況となっております。

このような環境のもと、Universal 社より、同社における事業方針および資金調達方針の見直しを踏まえ、本基本合意に基づく協議を終了したい旨の申し出がありました。当社においても、Universal 社の意向、協議状況および足元の市場環境等を踏まえて検討した結果、双方合意により本基本合意を終了することといたしました。

なお、本基本合意に基づく融資枠の設定または資金の借入れは行われておりません。

2. 相手先の概要

(1) 名称	Universal Digital Inc.
(2) 所在地	15th Floor, 1111 West Hastings St Vancouver, BC V6E 2J3 CA
(3) 代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer, Christopher Yeung
(4) 事業内容	ビットコイントレジャリー事業、暗号資産分析プラットフォーム事業、金融商品事業

(5) 資本金	11,706,862 CAD		
(6) 設立年月日	2018年7月19日		
(7) 大株主及び持株比率	KZ Labs Limited 10.4% Soul Capital Limited 10.4%		
(8) 当事会社間の関係			
資本関係	<ul style="list-style-type: none"> ・当社普通株式 266,500 株（議決権比率：3.88%）を保有しています。（2026年4月末時点） ・2025年9月19日付で第2回新株予約権の譲渡を受けており、7,335 個を保有しています。（2026年4月末時点） 		
人的関係	該当事項はありません。		
取引関係	該当事項はありません。		
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 （単位：千円。特記しているものを除く。1CADを106円にて換算。）			
決算期	2023年1月期	2024年1月期	2025年1月期
純資産	306,446	19,292	▲56,498
総資産	315,456	138,224	50,562
1株当たり純資産（円）	－（注1）	－（注1）	▲2.3
売上高	－（注2）	－（注2）	－（注2）
営業利益	－（注3）	－（注3）	－（注3）
経常利益	－（注3）	－（注3）	－（注3）
当期純利益	▲58,098	▲446,618	▲203,317
1株当たり当期純利益（円）	▲26.5	▲7.4	▲1.0
1株当たり配当金（円）	－	－	－

- (注) 1. 2023年1月期および2024年1月期の1株当たり純資産につきましては、期末時点の発行済み株式数が不明であるため記載しておりません。
2. 当該会社は直近3年間を通じて事業転換期にあり、収益認識の対象となる製品やサービスの販売を行っておらず、デジタル資産・株式投資・トレジャリー戦略などの事業準備・投資段階にあったため、売上高が計上されておりません。
3. 営業利益および経常利益につきましては、当該会社がIFRSに準拠して財務諸表を作成しており、算出していないため、記載しておりません。

3. 今後の見通し

本件は、正式な融資契約その他資金調達契約の締結前段階における基本合意の終了であり、本基本合意に基づく借入れその他の資金調達も実施されていないことから、当社業績に与える影響は軽微です。

本基本合意の終了は、当社における暗号資産トレジャリー戦略そのものを中止するものではありません。当社は引き続き、市場環境、財務健全性および株主価値への影響等を慎重に見極めながら、暗号資産トレジャリー戦略に関する各種検討を進めてまいります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上